

平成 22 年 7 月 21 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
(コード番号 : 8303 東証第一部)

ヘルスケアファイナンス業務への取り組みの強化について
～高齢者施設および事業者への支援に向けた資金供給の推進～

当行は、平成 22 年 6 月 23 日に発表した中期経営計画の目標として掲げる「顧客基盤の再構築」の達成に向けた取り組みの一環として、ヘルスケアファイナンス業務への取り組みを一層強化いたします。

当行は、高齢者介護施設や高齢者住宅などのヘルスケア施設や事業者を支援するための資金供給を推進する専門部署として、法人・商品部門の中に「ヘルスケアファイナンス部」を 7 月 23 日付けで新設いたします。同部では、対象となるヘルスケア施設や事業のキャッシュフローを担保としたアセットファイナンスや施設運営者に対するコーポレートファイナンスに加え、施設運営者に対する財務アドバイザーサービスなどを提供してまいります。

当行はこれまで、高齢者介護施設などに対するアセットファイナンスにいち早く取り組むなど、高齢者介護施設や高齢者住宅に対する融資に関する先進的な金融技術および情報力を蓄積してまいりました。少子高齢化の進展、高齢者のヘルスケア施設への入居需要の高まりを背景に、施設運営者の新規開設ニーズや、新たな投資対象としてヘルスケア施設に対する投資家の資産運用のニーズが旺盛であることから、当行では、本業務を中期経営計画における重要分野の一つと位置づけ、組織上の手当てを行い、総合的な取り組みを強化してまいります。

また、本件は、日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給」制度の趣旨に対応したのもでもあり、当行では、今回の資金供給の趣旨を踏まえ、ヘルスケアに携わる企業の活動を支援する取り組みとしても、積極的に推進してまいります。

以 上